

③ 施設管理労力の軽減

江川ダムには利水放流バルブの他に代替となる放流設備がなく、利水放流バルブの点検時等に放流する必要が生じた際には仮設ポンプを用いた放流を実施していた。

また、代替放流設備がないことから同設備に障害が発生した際の対応も困難となっていた。他にも、女男石頭首工は、洪水吐ゲートの幅が大きいいため1回のゲート操作で頭首工上流水位を一定に管理することが難しく、甘木橋頭首工では、油圧装置の摩耗により河川水位を安定的に保つことに苦慮していた。

本事業では、江川ダムへの利水放流副バルブの設置し、また女男石頭首工の洪水吐を二連化及び甘木橋頭首工の油圧設備等の更新を行った。

この結果、江川ダムにおいては正副バルブの定期的な点検補修を計画的に実施することが可能となった他、片方の放流設備に障害が発生した場合でも、正常なバルブで放流することが可能となり、利水安全性が向上している。また、女男石頭首工において洪水吐ゲートの二分割により頭首工上流の土砂堆積の予防、頭首工下流の急激な水位上昇を軽減することが可能となった他、甘木橋頭首工の油圧設備更新により河川流量の変動に応じた安全な河川水位の確保が可能となり、施設管理労力が軽減された。

(江川ダム放流設備)

放流時における突発的な不具合に対して迅速に点検を行えるよう、新たに副バルブを設置した。

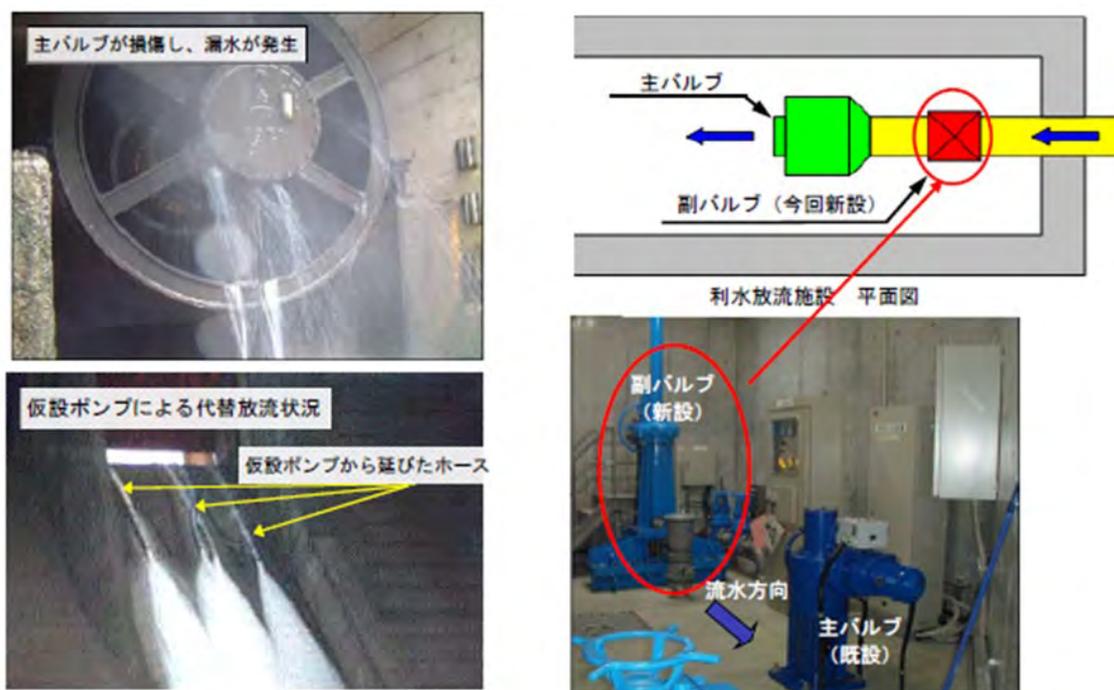


図 江川ダム 放流設備整備状況

(頭首工)

洪水吐ゲートの水漏れや摩耗、油圧装置の摩耗など老朽化による機能低下が著しいため、ゲート設備の更新を行った。



図 女男石頭首工及び甘木橋頭首工 整備状況

(2) 波及的効果、公益的・多面的効果等

① 事業による波及的効果

本事業実施前の平成 12 年における代表農作物作付延べ面積は 10,940ha であったが、実施後の平成 22 年では 11,188ha と 2%増加しており、福岡県全体の 3%増加とほぼ同水準であった。また、本地域の主要作物は、土地利用型作物の水稲、大豆及び麦類に加え、野菜指定産地の対象品目であるねぎの他、果樹類である。本地域におけるこれら主要作物の作付面積は、福岡県全体の市町村順位で全て上位を占めており、特に朝倉市のねぎは全国で 10 位以内に位置している。

また、本事業の受益地である筑前町では、平成 21 年に食と農をテーマとした地域活性化の拠点施設として、「筑前町ファーマーズマーケットみなみの里」を開業し、本施設は、直売施設、加工販売施設、レストラン施設及び弁当工房施設等が整備され、直売所では筑前町で生産された米、生鮮野菜や果物などの農産物、漬物等の加工品などを販売、加工販売施設では筑前町の米を原料とした米粉を使ったパンやピザ、筑前町の大豆（筑前クロダルマ）を原料とした豆腐等を製造、レストラン施設及び弁当工房施設では羽釜で炊いたご飯や旬の野菜を材料とした料理を提供している。

開業当時は出荷者数が 150 名不足であり、閑散とした直売所であったが、今では約 450 名となり、多くの農産物が出荷されている。年間来客数も 100 万人を超え、施設の売上も開業当時の約 3 億 2 千万円から約 8 億 3 千万円と増加している。また、売上の 2 割をレストラン、弁当とパンの売上が占め、町産米の消費拡大に貢献するとともに、地域農家から仕入れる弁当の材料代は、約 450 万円（平成 21 年）から約 1,100 万円（令和 4 年）に増加し、地元農家の所得向上にも寄与している。

このような取組により、2020 年度「地産地消等優良活動表彰」の食品産業部門で農林水産大臣賞を受賞している。



筑前町ファーマーズマーケットみなみの里



直売所



筑前クロダルマ（黒大豆）



筑前クロダルマ加工品



かまど炊きごはん



地元食材を使った料理



地元食材のお惣菜



農林水産大臣賞（地産地消等優良表彰の食品産業部門）

(3) 事後評価時点における費用対効果分析結果

効果の発現状況を踏まえ、事後評価時点の各種データを基に、総費用総便益比を算定した結果、以下のとおりとなった。

総費用 107,660 百万円

総便益 126,773 百万円

総費用総便益比 1.17

5. 事業実施による環境の変化

(1) 環境配慮対策

① 生活環境

本事業による施工は、既設構造物の取り壊しや鋼矢板の打設・引き抜きが含まれていることから、低騒音工法や防音フェンスを採用することで近隣住民への騒音・防音対策を実施し、地域住民の生活環境の改善を図っている。



図 防音壁の設置（福田支線水路柿原3号分木工改築）

さらに、導水路のトンネル補強工事で発生する濁水は濁水処理施設で処理した後に最終工程でモールコード層を通して再処理することで排水先の水質保全に努めている。



図 寺内導水路汚水処理施設

② 自然環境

本事業の施工区域内にチュウサギ等サギ類の活動域があるため、非開削工法や低騒音振動型建設機械の使用により、採餌場の減少や採餌活動及び休息への影響を最小限に抑えている。

また、既設魚道の流れが速く、かつ落差が大きいことで、アユ等の浮遊魚、ウナギ、ヨシノボリ等底生魚は遡上が困難であったことから、魚道の流速を遊泳速度（70cm～100cm/s）以下になるよう、魚道最上段と2段目の隔壁の嵩上げ、入り口部へのプールの追加、呼び水管の設置などの改築を行った。



図 女男石頭首工の魚道

さらに、ニホンヒキガエル等が生息する区間において、開水路に蓋を設置することにより分断されている生物の移動経路を確保している。



図 生物の移動に配慮した開水路の施工

③ 農業生産環境

本事業で整備した構造物および周辺設備は周辺の景観との調和を考慮して設置位置および塗装等を決定したため、四季を通じて周辺の農村に馴染んだ景観が形成されている。



図 農村景観に配慮した弥永調整水槽



図 景観に配慮したコンクリート構造物と周辺整備（夜須支線水路八並分水工）

6. 今後の課題等

(1) 水利施設のかんがい機能の保全

本事業において改修された施設により、水資源機構営施設の幹支線水路等の漏水解消とともに、水管理システムの導入により水管理作業が最適化かつ省力化され、安定的な通水が可能になっている。

なお、事業の対象区間以外の施設については事業着手時の機能診断調査結果より健全であったため改修対象外としているが、引き続き機能診断を行いつつ、状態監視をしていく必要がある。

今後も施設機能が十分に発揮され、圃場末端までの安定的な通水が行われるよう、幹支線水路及び県営水路を水資源機構と土地改良区が密に連携して、一体的に適正な維持管理に努める必要がある。

(2) 担い手育成、確保に向けた取組

関係市町のうち、朝倉市のみ人口が減少傾向にあり、その他の関係市町は微増傾向にあるが、国立社会保障・人口問題研究所の人口予測において、今後はすべての市町の人口が減少に転ずると予測されている。また、これと相まって、農業就業人口もさらなる減少が予測されるとともに、現時点においても高齢化が進んでいることから、力強い持続可能な農業構造の実現に向けた担い手の育成・確保が必要である。このため、担い手への農地の利用集積・集約化、経営規模の拡大を図る必要があるが、現状として着実に前進はしているものの、その速度は遅いため、今後加速化させていく必要がある。

(3) 農業生産性向上を目指すための最新技術の導入

今後の農業就業人口減少や人口減少に伴う労働力不足により、細やかな栽培管理が困難になることが予想されるため、生産量、品質の低下が懸念される。

そのため、生産基盤である農地が持続性を持って最大限利用されるようスマート農業技術の導入により、知識・経験に関わらず誰でも取り組みやすい環境づくり、作業の自動化や作業スピードの向上による省力化・効率化による生産性の向上が重要である。

第3章 総合評価

本事業の実施により改修された施設は、従前の機能回復が図られ農業用水の安定供給と施設管理の安全性が確保されている。また、水管理システムの導入により配水操作の合理化が図られたことにより、配水操作の負担が軽減されるなど、農作業の効率化が図られたことで、以下のような事業効果が発現している。

1. 安定した農業生産が維持されており、施設園芸作物として、きゅうりやなすなどの高収益作物の栽培が行われ、生産量及び単収の増加に寄与している。また、受益地における事業実施前（平成16年）と事業実施後（令和5年）の作物ごとの単収を比較すると、裏作のキャベツやきゅうり（施設）、なす（施設）、トマト（施設）などの高収益作物の単収が大きく増加しており、これは事業により安定した農業用水の確保に起因するものと考えられる。
2. 水稻栽培におけるかん水管理に伴う作業時間として、事業計画時点では122.6時間/haだったが、事後評価時点においては35.9時間/haとなっており、作業時間の省力化が図られている。
3. 本事業の受益地である筑前町には、地域の農産物や加工品等を販売している直売所「筑前町ファーマーズマーケットみなみの里」が2009年に開業されている。現在、本直売所への出荷数は450名（開業当初150名）となり、年間来客数は100万人を超えており、売上も約8億3千万円と増加し地元農家の所得向上にも寄与している。

第4章 参考

1. 「両筑平野用水二期事業」アンケート調査結果について

事業実施による効果（波及的効果を含む。）の発現状況及び生活環境の変化について、受益農家及び受益地周辺に居住する地域住民の意向を把握し、その内容を評価結果に反映させることにより、既存資料等に基づく評価内容を補完するためアンケート調査を実施した。

なお、調査は、農業従事者及び地域住民を対象として、令和5年10月から11月にかけて実施した。

対象者	配布数（部）	回収数（人）	回収率（%）
農業従事者	138	138	100
地域住民	231	205	89
合計	369	343	93

（1）調査の実施方法について

アンケート調査の回収数が概ね300名程度確保することを念頭に、農業従事者（目標：約120名）及び地域住民（目標：約180名）への調査を実施した。

① 農業従事者

農業従事者に対するアンケート調査は、回収率8割程度を想定し、土地改良区理事会及び理事の紹介者を通じて、アンケートの配布（約140部）を行った。

② 地域住民

地域住民に対するアンケート調査は、回収率8割程度を想定し、関係市町の受益面積割合を勘案しつつ、一部地域に偏らないよう主に受益地周辺の在住者である区長を通じて集落区ごとに配布（約230部）を行った。

（2）調査用紙の配布・回収方法について

① 農業従事者

土地改良区の理事を通じて、配布・回収を行った。

② 地域住民

管理所が集落区ごとの区長会等の場で説明し、配布・回収を行った。

「両筑平野用水二期事業」に関するアンケート調査

○アンケートをご記入になる前に
アンケートはご家族のどなたが回答しても構いません。

I 回答者の方にお伺いします。(あてはまるもの1つに○をつけて下さい。)

◆設問1. あなたの性別を教えてください。

1. 男 2. 女 3. 無回答

◆設問2. あなたの年齢を教えてください。

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代
6. 60代 7. 70代以上

◆設問3. あなたはどの市町村にお住まいですか。

1. 小郡市 2. 朝倉市 3. 筑前町 4. 大刀洗町 5. その他 ()

◆設問4. あなたの職業を選んでください。

1. 会社員 2. 自営業 3. 公務員 4. パート、アルバイト
5. 専業主婦 6. 農家 7. 学生 8. その他 ()

II 「両筑平野用水二期事業」についてお尋ねします。

水資源機構営事業では、農業用水路などの施設の整備において、地域の景観や自然環境に配慮した整備に取り組んでいます。このような取り組みが地域の方々にも実感されているか、地域にどのような影響を及ぼしているかを尋ねます。

◆設問5. あなたは平成17年度から平成29年度に水資源機構両筑平野用水二期事業が実施され、農業用水路等が改築されたことを知っていますか。

1. 知っている 2. 聞いたことはある 3. 知らない

◆設問6. 本事業では、農業用水路等の周辺地域の環境や景観に配慮して改築が行われましたが、このことによってあなたの周りの自然環境や生活環境にどのように影響があったと思いますか。すべての項目について、あてはまる番号のいずれか1つに○をつけてください。

項 目	選 択 肢				
	1	2	3	4	5
①農村らしい景観が維持された	1	2	3	4	5
②整備された施設が社会学習の場として活用されている	1	2	3	4	5
③環境保全への啓発活動が盛んになった	1	2	3	4	5
④耕作放棄地の発生が防止された	1	2	3	4	5
⑤学校給食や地域住民による地元食材の消費が増えた	1	2	3	4	5
⑥あなた自身地元食材の消費が増えた	1	2	3	4	5

⑦地元食材を使用した食育活動が増えた	1	2	3	4	5
⑧頭首工の魚道が整備され、魚が遡上しやすくなった (別紙「説明写真」参照)	1	2	3	4	5
⑨施設周辺に事故防止のためのフェンス等が整備され安全性が向上した (別紙「説明写真」参照)	1	2	3	4	5

◆設問7. あなたは、日頃、農業についてどのような考えをお持ちですか。あてはまる番号 すべてに○をつけてください。(複数回答可)

1. 農業は主食である米や新鮮な野菜・果物などの食料を供給する大切な産業である
2. 農業は作物の生産だけでなく、自然環境の保全や文化の伝承など様々な役割を担っている
3. 作物を生産している農地を今後も確保していくことは重要である
4. 子供に生命や自然の大切さを教える教育の場として重要である
5. 緑や自然に恵まれた美しい農村空間は地域の財産である
6. 農家の方々との交流は必要である
7. 地域経済の維持・発展や雇用の確保のためには必要な産業である
8. 農業用水を安定供給するための施設整備において、今後も環境配慮は必要である
9. その他 ()
10. あてはまるものはない

◆設問8. 今後、地域の農業にどのように関わっていきたいと思いますか。あてはまる番号 すべてに○をつけてください。(複数回答可)

1. 地場食材の消費拡大に努めたい
2. 環境保全活動などに参加するなど、美しい農村空間の維持に努めたい
3. 農業に従事してみたい
4. その他 ()
5. 特に関わりたいたと思わない

Ⅲ 「両筑平野用水二期事業」に対する意見等

◆設問9. 「両筑平野用水二期事業」全体に対して、ご意見等がありましたら記入して下さい。

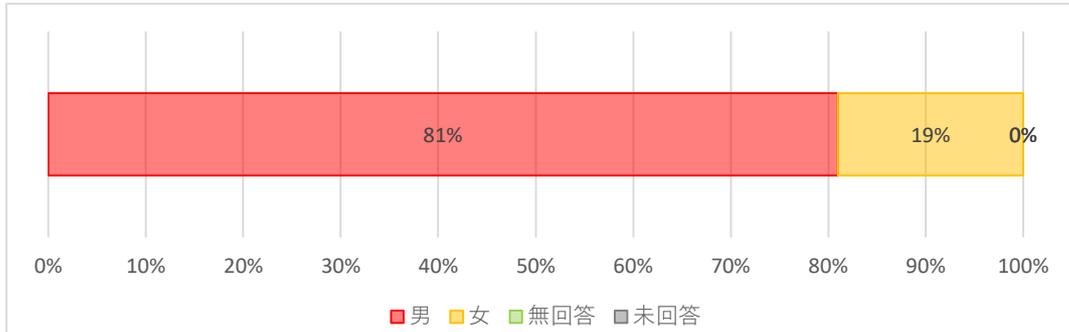
ご協力ありがとうございました。

「両筑平野用水二期事業」に関するアンケート調査 (地域住民向け)

Ⅰ 回答者の方にお伺いします。

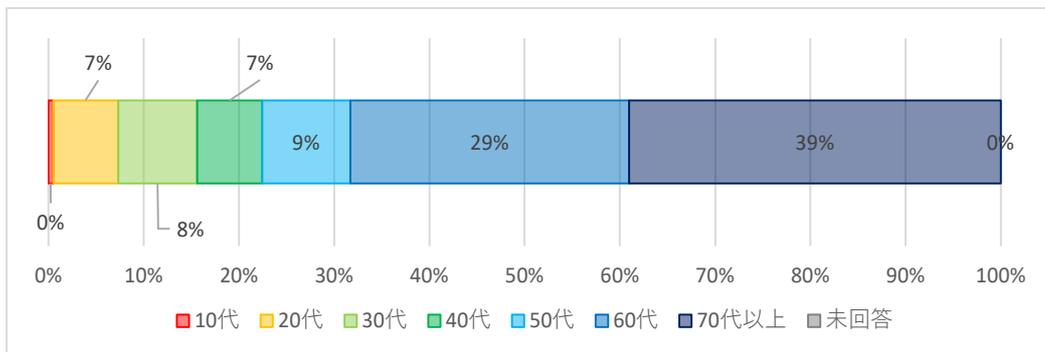
◆設問1. あなたの性別を教えてください。

選択肢	回答数	割合
1 男	166	81%
2 女	39	19%
3 無回答	0	0%
- 未回答	0	0%
計	205	100%



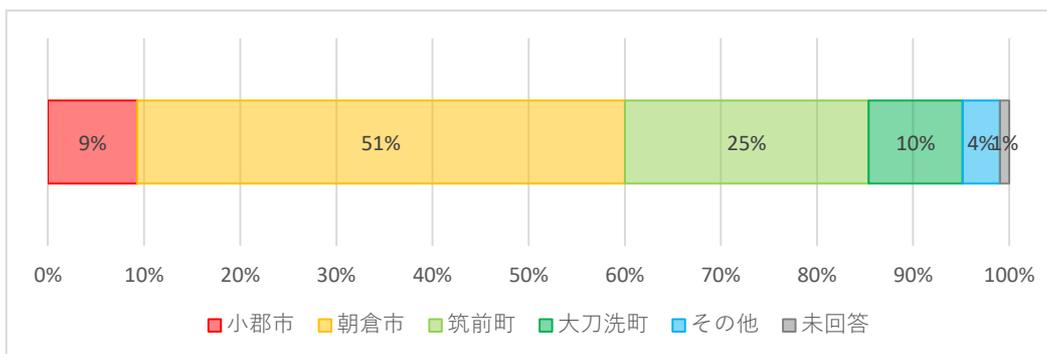
◆設問2. あなたの年齢を教えてください。

選択肢	回答数	割合
1 10代	1	0%
2 20代	14	7%
3 30代	17	8%
4 40代	14	7%
5 50代	19	9%
6 60代	60	29%
7 70代以上	80	39%
- 未回答	0	0%
計	205	100%



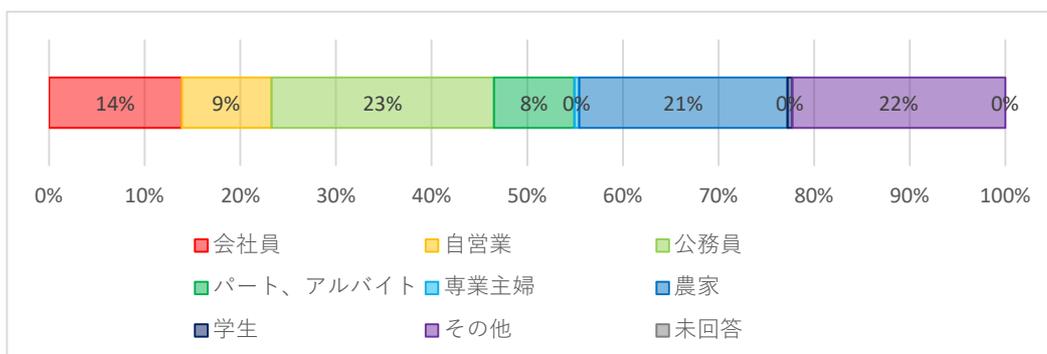
◆設問3. あなたはどの市町村にお住まいですか。

選択肢	回答数	割合
1 小郡市	19	9%
2 朝倉市	104	51%
3 筑前町	52	25%
4 大刀洗町	20	10%
5 その他	8	4%
- 未回答	2	1%
計	205	100%



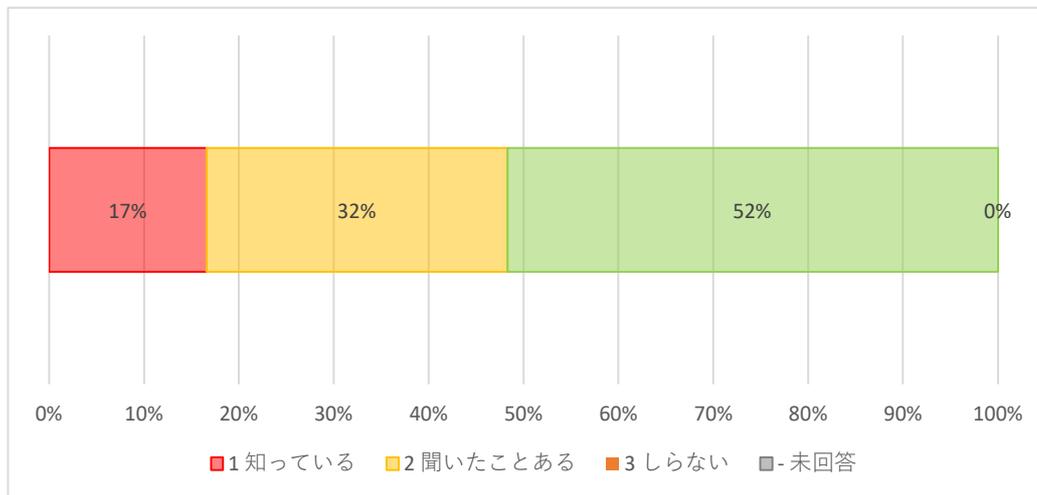
◆設問4. あなたの職業を選んでください。

選択肢	回答数	割合
1 会社員	28	14%
2 自営業	19	9%
3 公務員	47	23%
4 パート、アルバイト	17	8%
5 専業主婦	1	0%
6 農家	44	21%
7 学生	1	0%
8 その他	45	22%
- 未回答	0	0%
計	205	100%



◆設問5. あなたは平成17年度から平成29年度に水資源機構両筑平野用水二期事業が実施され、農業用水路等が改築されたことを知っていますか。

選択肢	回答数	割合
1 知っている	34	17%
2 聞いたことある	65	32%
3 しらない	106	52%
- 未回答	0	0%
計	205	100%



- ◆設問6. 本事業では、農業用水路等の周辺地域の環境や景観に配慮して改築が行われましたが、このことによってあなたの周りの自然環境や生活環境にどのように影響があったと思いますか。

すべての項目について、あてはまる番号のいずれか1つに○をつけてください。

①農村らしい景観が維持された

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	27	13%
2 ややそう思う	31	15%
3 どちらとも思わない	110	54%
4 ややそう思わない	16	8%
5 そう思わない	5	2%
- 未回答	16	8%
計	205	100%

②整備された施設が社会学習の場として活用されている

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	10	5%
2 ややそう思う	28	14%
3 どちらとも思わない	111	54%
4 ややそう思わない	27	13%
5 そう思わない	11	5%
- 未回答	18	9%
計	205	100%

③環境保全への啓発活動が盛んになった

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	11	5%
2 ややそう思う	32	16%
3 どちらとも思わない	111	54%
4 ややそう思わない	25	12%
5 そう思わない	10	5%
- 未回答	16	8%
計	205	100%

④耕作放棄地の発生が防止された

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	8	4%
2 ややそう思う	22	11%
3 どちらとも思わない	98	48%
4 ややそう思わない	37	18%
5 そう思わない	25	12%
- 未回答	15	7%
計	205	100%

⑤学校給食や地域住民による地元食材の消費が増えた

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	5	2%
2 ややそう思う	21	10%
3 どちらとも思わない	122	60%
4 ややそう思わない	30	15%
5 そう思わない	11	5%
- 未回答	16	8%
計	205	100%

⑥あなた自身地元食材の消費が増えた

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	10	5%
2 ややそう思う	30	15%
3 どちらとも思わない	106	52%
4 ややそう思わない	28	14%
5 そう思わない	16	8%
- 未回答	15	7%
計	205	100%

⑦地元食材を使用した食育活動が増えた

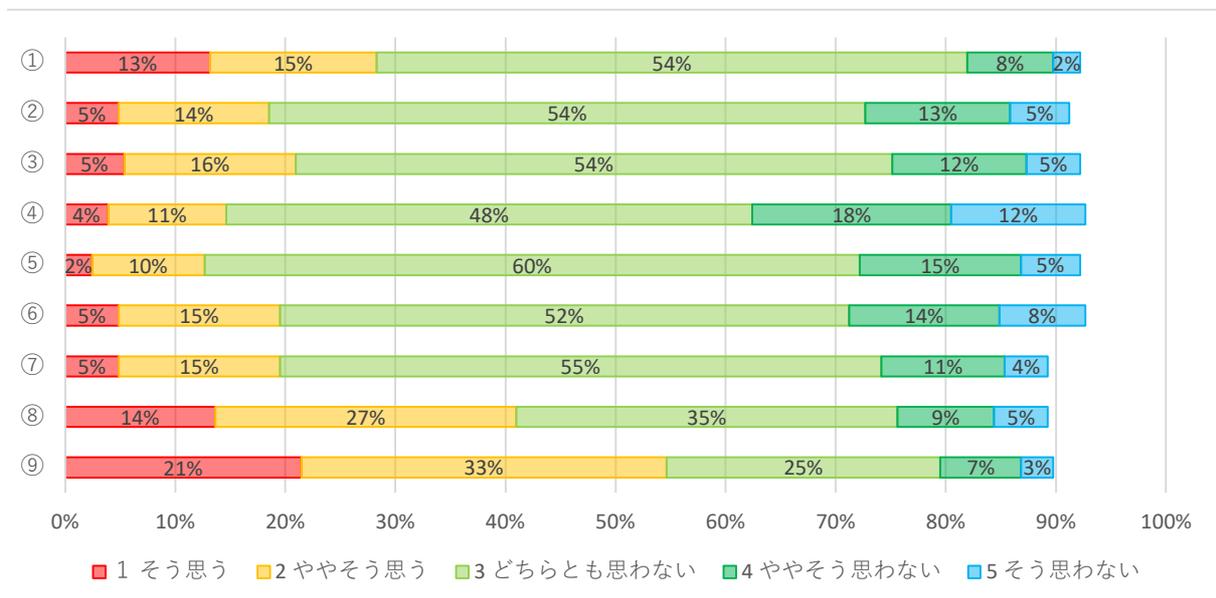
選択肢	回答数	割合
1 そう思う	10	5%
2 ややそう思う	30	15%
3 どちらとも思わない	112	55%
4 ややそう思わない	23	11%
5 そう思わない	8	4%
- 未回答	22	11%
計	205	100%

⑧頭首工の魚道が整備され、魚が遡上しやすくなった（別紙「説明写真」参照）

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	28	14%
2 ややそう思う	56	27%
3 どちらとも思わない	71	35%
4 ややそう思わない	18	9%
5 そう思わない	10	5%
- 未回答	22	11%
計	205	100%

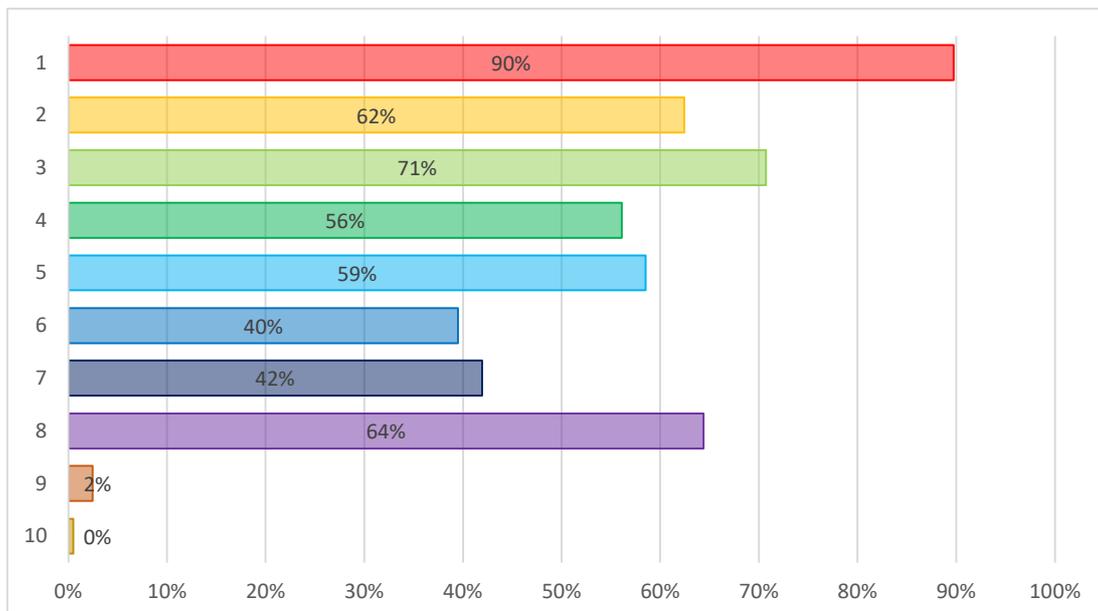
⑨施設周辺に事故防止のためのフェンス等が整備され安全性が向上した
（別紙「説明写真」参照）

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	44	21%
2 ややそう思う	68	33%
3 どちらとも思わない	51	25%
4 ややそう思わない	15	7%
5 そう思わない	6	3%
- 未回答	21	10%
計	205	100%



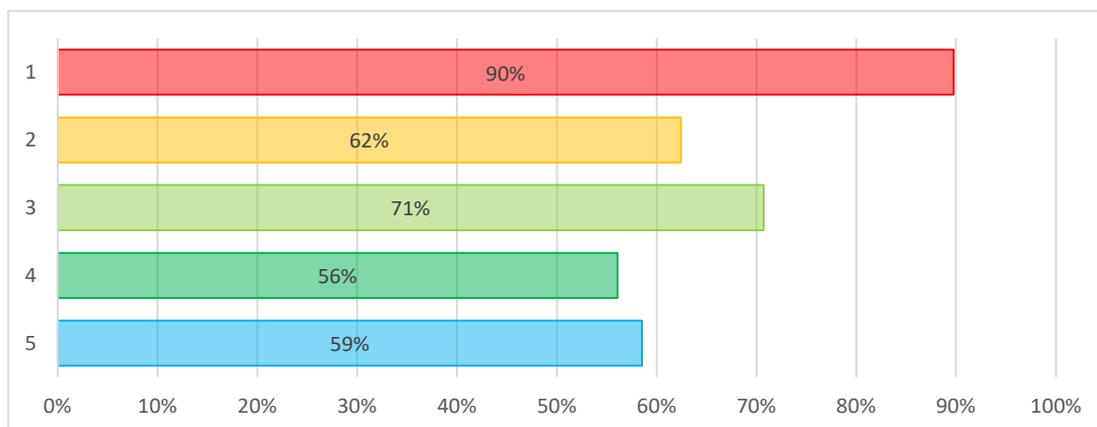
◆設問7. あなたは、日頃、農業についてどのような考えをお持ちですか。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答可）

選択肢	回答数	割合
1 農業は主食である米や新鮮な野菜・果物などの食料を供給する大切な産業である	184	90%
2 農業は作物の生産だけでなく、自然環境の保全や文化の伝承など様々な役割を担っている	128	62%
3 作物を生産している農地を今後も確保していくことは重要である	145	71%
4 子供に生命や自然の大切さを教える教育の場として重要である	115	56%
5 緑や自然に恵まれた美しい農村空間は地域の財産である	120	59%
6 農家の方々との交流は必要である	81	40%
7 地域経済の維持・発展や雇用の確保のためには必要な産業である	86	42%
8 農業用水を安定供給するための施設整備において、今後も環境配慮は必要である	132	64%
9 その他	5	2%
10 あてはまるものはない	1	0%
- 未回答	7	3%
計	205	100%



- ◆設問8. 今後、地域の農業にどのように関わっていきたいと思いますか。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答可）

選択肢	回答数	割合
1 地場食材の消費拡大に努めたい	184	90%
2 環境保全活動などに参加するなど、美しい農村空間の維持に努めたい	128	62%
3 農業に従事してみたい	145	71%
4 その他	115	56%
5 特に関わりたいと思わない	120	59%
- 未回答	7	3%
計	205	100%



「両筑平野用水二期事業」に関するアンケート調査

I 回答者の方にお伺いします。(あてはまるもの1つに○をつけて下さい。)

◆設問1. あなたの性別を教えてください。

1. 男 2. 女 3. 無回答

◆設問2. あなたの年齢を教えてください。

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代
6. 60代 7. 70代以上

◆設問3. あなたはどの市町村にお住まいですか。

1. 小郡市 2. 朝倉市 3. 筑前町 4. 大刀洗町 5. その他 ()

◆設問4. あなたのお宅はどれに該当しますか。

1. 専業農家 2. 兼業農家 3. 農業生産法人など

◆設問5. あなたのお宅には資格や認定を受けている人がいますか。(あてはまるものすべてに○をつけて下さい。)

1. 認定農業者 2. エコファーマー 3. GAP 認証 4. 該当なし
5. その他(具体的に_____)

◆設問6. あなたの家の所有する耕地面積はどれですか。(あてはまるもの1つに○をつけて下さい。)

1. 30a 未満 5. 3ha~4ha 未満
2. 30a ~1ha 未満 6. 4ha~5ha 未満
3. 1ha~2ha 未満 7. 5ha~10ha 未満
4. 2ha~3ha 未満 8. 10ha 以上

参考 10a = 1 反 1ha = 1 町

◆設問7. あなたのお宅は農産物加工(6次産業化)や直売所への出荷を行っていますか。(あてはまるものすべてに○をつけて下さい。)

1. 加工を行っている (品目_____)
2. 直売所へ出荷している (品目_____)
3. 該当なし(その他_____)

◆設問8. 現在の栽培作物について、あてはまるものに○をつけて下さい。また、今後の栽培作物について、該当するものはどれですか。

現在の作物: 水稲、麦、大豆、飼料用作物、野菜、その他(_____)

1. 現在の作物を維持したい
2. 水稲(主食用以外)、麦、大豆、飼料用作物等を導入したい
※水稲:(加工用米、米粉用)を含みます。
3. 野菜など収益性の高い作物を導入したい(今後の作物:_____)

◆設問9. 今後の経営規模について、該当するものにどれですか。

1. 経営規模を維持したい
2. 経営規模を拡大したい
3. 経営規模を縮小したい

II 「両筑平野用水二期事業」についてお尋ねします。

- ◆設問 10. 両筑平野用水二期事業では、老朽化が進んだ施設の改築や水管理システムの導入を行いました。また、用水到達時間の遅れの対応のため、水路途中に調整水槽を設置しました。以下の改築事業の効果をお聞かせください。（すべての項目にあてはまる番号のいずれか1つに○をつけて下さい。）

項 目	選択肢				
	そう思う		どちらとも思わない		そう思わない
①安定的に農業用水が供給された (別紙「説明写真」参照)	1	2	3	4	5
②地域の農作物の栽培が維持されて、営農が継続された	1	2	3	4	5
③配水操作(水管理)の時間が削減された (別紙「説明写真」参照)	1	2	3	4	5
④施設周辺に事故防止のためのフェンス等が設置され安全性が向上した	1	2	3	4	5
⑤営農意欲の向上により耕作放棄地の発生が抑制された	1	2	3	4	5
⑥農産物のブランド化や産地化が進んだ	1	2	3	4	5
⑦農業経営の法人化や企業参入などが進んだ	1	2	3	4	5
⑧後継者・担い手育成や若手農業者の増加につながった	1	2	3	4	5

- ◆設問 11. 両筑平野用水二期事業では、老朽化が進んだ施設の改築や水管理システムの導入にあわせ、水路周辺地域の環境や景観への配慮として以下の取組を行いました。これらについて、農業農村の環境や景観の保全に役立っていると思われませんか。（すべての項目について、あてはまる番号のいずれか1つに○をつけて下さい。）

項 目	選択肢				
	そう思う		どちらとも思わない		そう思わない
①遡上しやすい魚道への改善 (別紙「説明写真」参照)	1	2	3	4	5
②歴史的景観条例に配慮したゲートの色彩 (別紙「説明写真」参照)	1	2	3	4	5
③農村景観に配慮した調整水槽の設置位置の検討 (別紙「説明写真」参照)	1	2	3	4	5
④景観に配慮したコンクリート構造物と周辺整備 (別紙「説明写真」参照)	1	2	3	4	5
⑤低騒音工法を用いた既設構造物の取り壊し (別紙「説明写真」参照)	1	2	3	4	5

III 「両筑平野用水二期事業」に対する意見等

- ◆設問 12. 「両筑平野用水二期事業」全体に対して、ご意見等がありましたら記入して下さい。

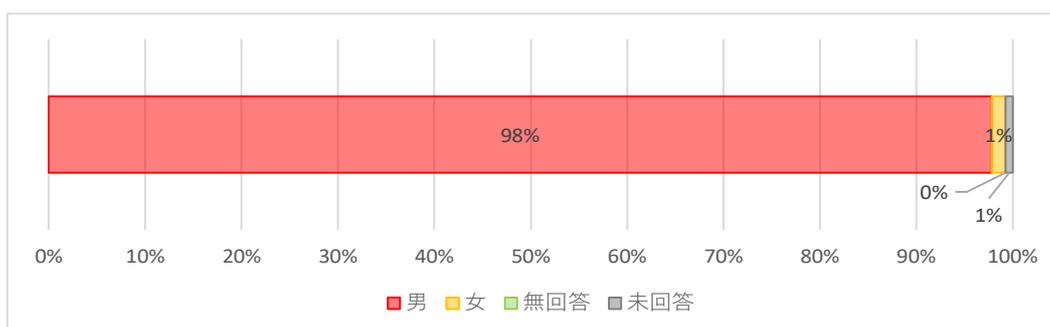
ご協力ありがとうございました。

「両筑平野用水二期事業」に関するアンケート調査 (受益者向け)

I 回答者の方にお伺いします。

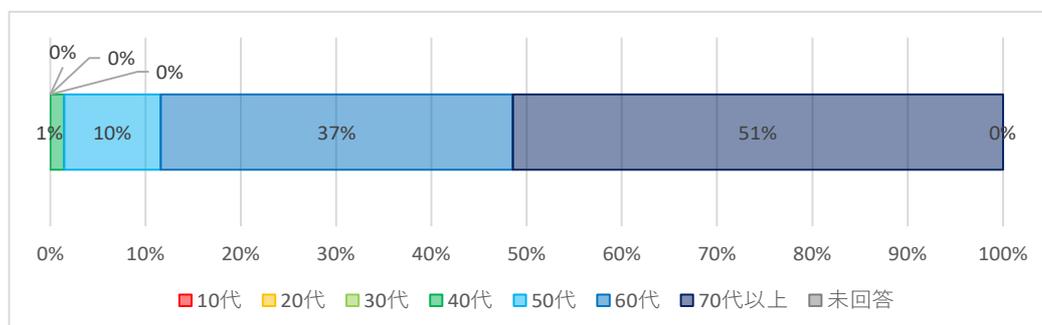
◆設問1. あなたの性別を教えてください。

選択肢	回答数	割合
1 男	135	98%
2 女	2	1%
3 無回答	0	0%
- 未回答	1	1%
計	138	100%



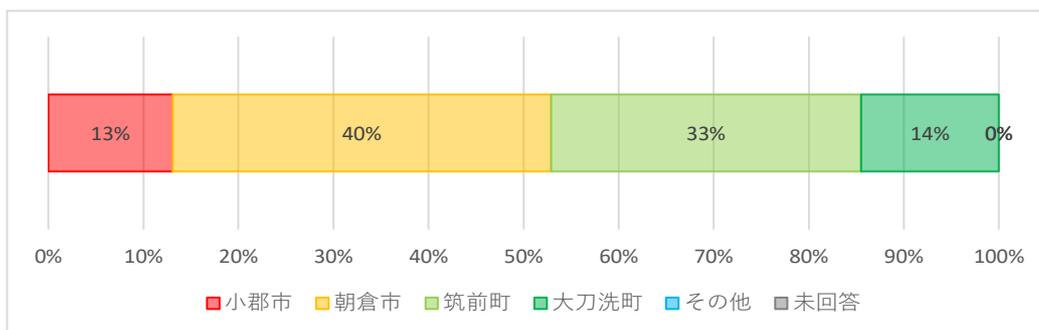
◆設問2. あなたの年齢を教えてください。

選択肢	回答数	割合
1 10代	0	0%
2 20代	0	0%
3 30代	0	0%
4 40代	2	1%
5 50代	14	10%
6 60代	51	37%
7 70代以上	71	51%
- 未回答	0	0%
計	138	100%



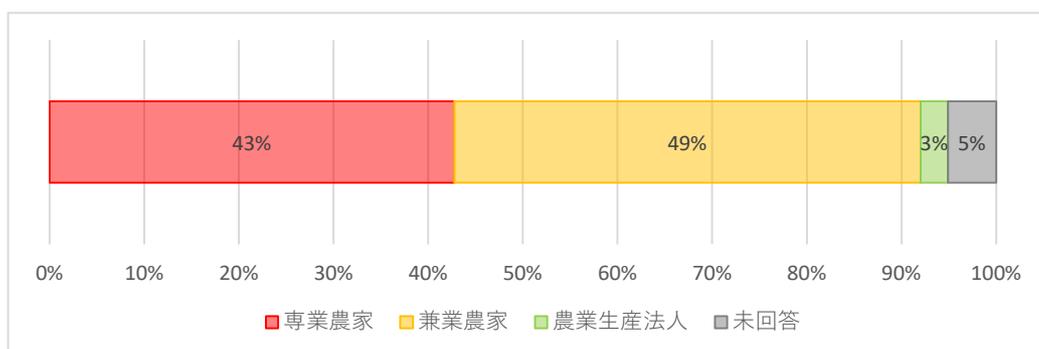
◆設問3. あなたはどの市町村にお住まいですか。

選択肢	回答数	割合
1 小郡市	18	13%
2 朝倉市	55	40%
3 筑前町	45	33%
4 大刀洗町	20	14%
5 その他	0	0%
- 未回答	0	0%
計	138	100%



◆設問4. あなたのお宅はどれに該当しますか。

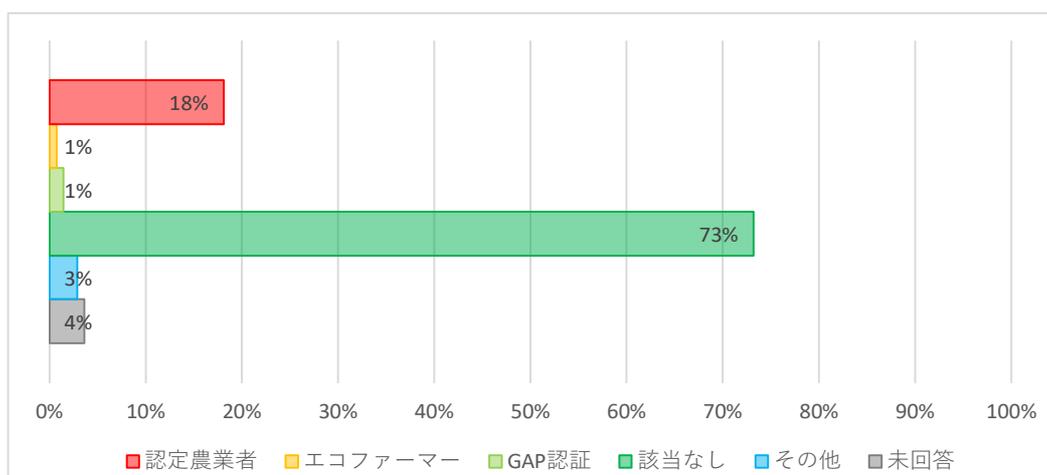
選択肢	回答数	割合
1 専業農家	59	43%
2 兼業農家	68	49%
3 農業生産法人	4	3%
- 未回答	7	5%
計	138	100%



◆設問5. あなたのお宅には資格や認定を受けている人がいますか。

(あてはまるものすべてに○をつけて下さい。)

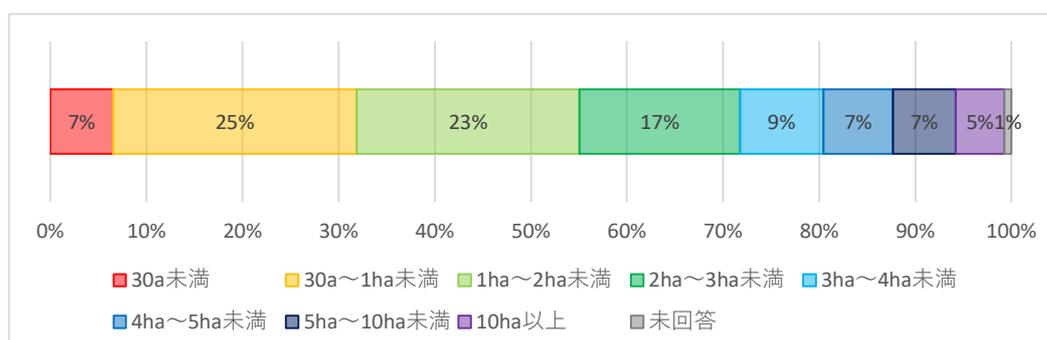
選択肢	回答数	割合
1 認定農業者	25	18%
2 エコファーマー	1	1%
3 GAP認証	2	1%
4 該当なし	101	73%
5 その他	4	3%
- 未回答	5	4%
計	138	100%



◆設問6. あなたの家の所有する耕地面積はどれですか。

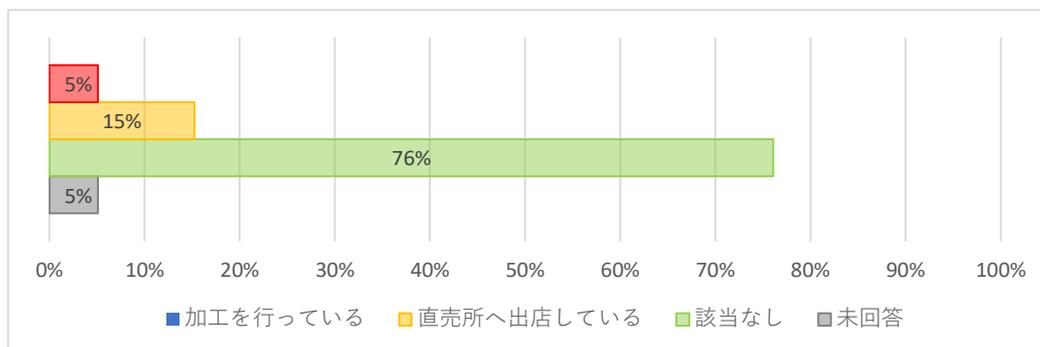
(あてはまるもの1つに○をつけて下さい。)

選択肢	回答数	割合
1 30a未満	9	7%
2 30a～1ha未満	35	25%
3 1ha～2ha未満	32	23%
4 2ha～3ha未満	23	17%
5 3ha～4ha未満	12	9%
6 4ha～5ha未満	10	7%
7 5ha～10ha未満	9	7%
8 10ha以上	7	5%
- 未回答	1	1%
計	138	100%



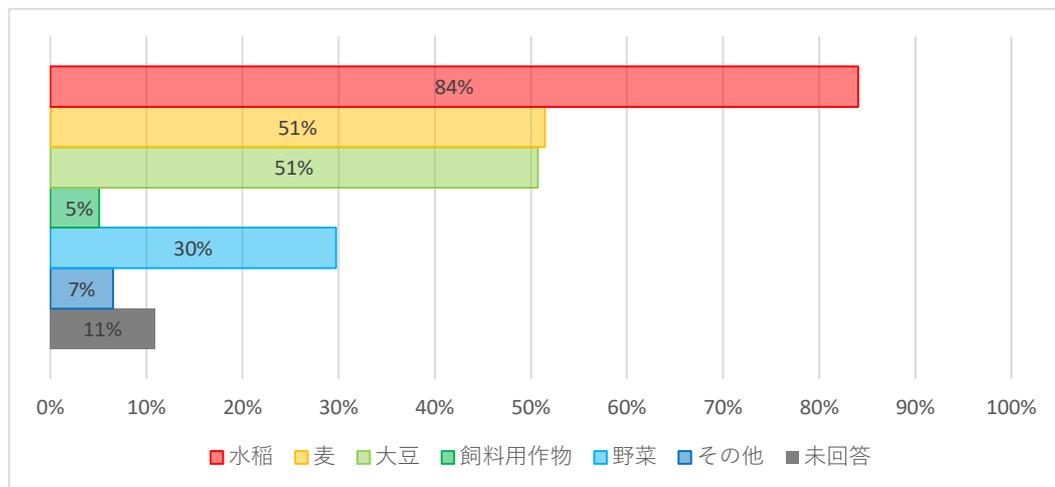
◆設問7. あなたのお宅は農産物加工（6次産業化）や直売所への出荷を行っていますか。
 （あてはまるものすべてに○をつけて下さい。）

選択肢	回答数	割合
1 加工を行っている	7	5%
2 直売所へ出店している	21	15%
3 該当なし	105	76%
- 未回答	7	5%
計	138	100%

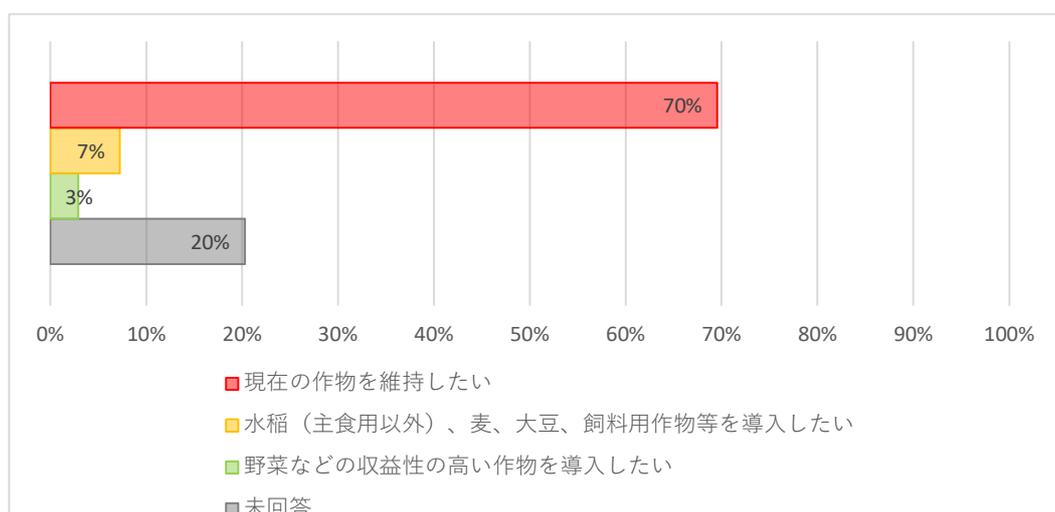


◆設問8. 現在の栽培作物について、あてはまるものに○をつけて下さい。
 また、今後の栽培作物について、該当するものはどれですか。

選択肢	回答数	割合
1 水稲	116	84%
2 麦	71	51%
3 大豆	70	51%
4 飼料用作物	7	5%
5 野菜	41	30%
6 その他	9	7%
- 未回答	15	11%
計	138	100%

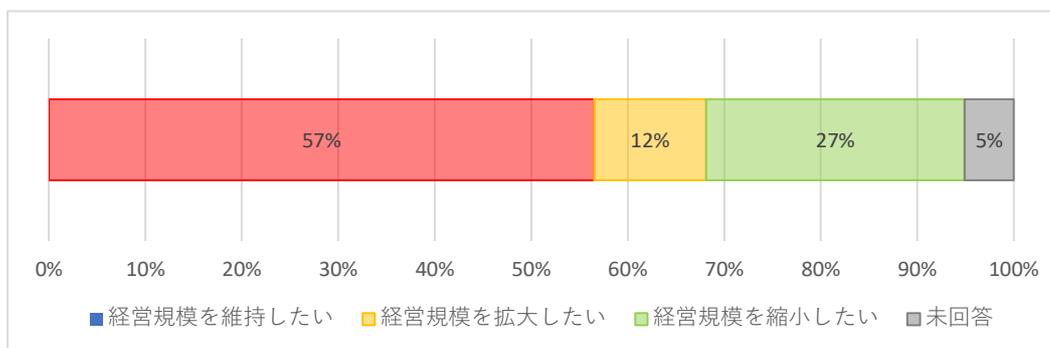


選択肢	回答数	割合
1 現在の作物を維持したい	96	70%
2 水稲（主食用以外）、麦、大豆、飼料用作物等を導入したい	10	7%
3 野菜などの収益性の高い作物を導入したい	4	3%
- 未回答	28	20%
計	138	100%



◆設問9. 今後の経営規模について、該当するものにどれですか。

選択肢	回答数	割合
1 経営規模を維持したい	78	57%
2 経営規模を拡大したい	16	12%
3 経営規模を縮小したい	37	27%
- 未回答	7	5%
計	138	100%



II 「両筑平野用水二期事業」についてお尋ねします。

◆設問10. 両筑平野用水二期事業では、老朽化が進んだ施設の改築や水管理システムの導入を行いました。また、用水到達時間の遅れの対応のため、水路途中に調整水槽を設置しました。以下の改築事業の効果をお聞かせください。

(すべての項目にあてはまる番号のいずれか1つに○をつけて下さい。)

①安定的に農業用水が供給された(別紙「説明写真」参照)

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	44	32%
2 ややそう思う	31	22%
3 どちらとも思わない	35	25%
4 ややそう思わない	11	8%
5 そう思わない	8	6%
- 未回答	9	7%
計	138	100%

②地域の農作物の栽培が維持されて、営農が継続された

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	30	22%
2 ややそう思う	36	26%
3 どちらとも思わない	48	35%
4 ややそう思わない	6	4%
5 そう思わない	5	4%
- 未回答	13	9%
計	138	100%

③配水操作(水管理)の時間が削減された(別紙「説明写真」参照)

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	35	25%
2 ややそう思う	26	19%
3 どちらとも思わない	44	32%
4 ややそう思わない	13	9%
5 そう思わない	7	5%
- 未回答	13	9%
計	138	100%

④施設周辺に事故防止のためのフェンス等が設置され安全性が向上した

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	39	28%
2 ややそう思う	34	25%
3 どちらとも思わない	36	26%
4 ややそう思わない	5	4%
5 そう思わない	8	6%
- 未回答	16	12%
計	138	100%

⑤営農意欲の向上により耕作放棄地の発生が抑制された

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	14	10%
2 ややそう思う	19	14%
3 どちらとも思わない	60	43%
4 ややそう思わない	15	11%
5 そう思わない	15	11%
- 未回答	15	11%
計	138	100%

⑥農産物のブランド化や産地化が進んだ

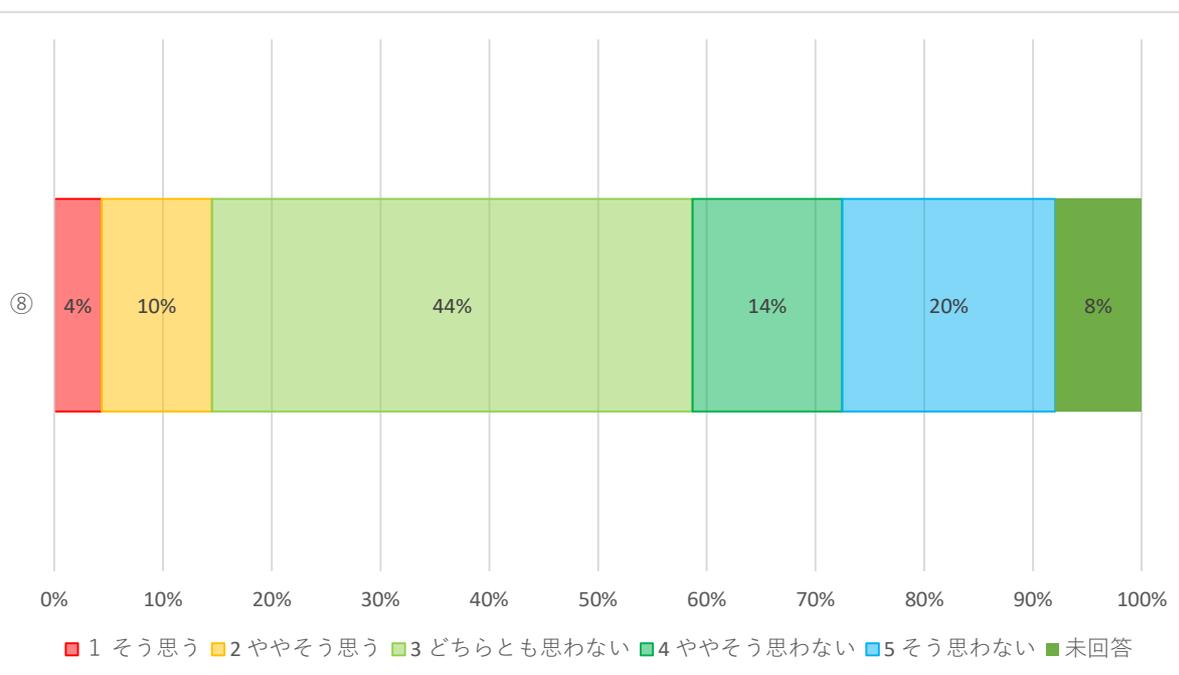
選択肢	回答数	割合
1 そう思う	7	5%
2 ややそう思う	19	14%
3 どちらとも思わない	67	49%
4 ややそう思わない	15	11%
5 そう思わない	16	12%
- 未回答	14	10%
計	138	100%

⑦農業経営の法人化や企業参入などが進んだ

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	5	4%
2 ややそう思う	13	9%
3 どちらとも思わない	72	52%
4 ややそう思わない	21	15%
5 そう思わない	16	12%
- 未回答	11	8%
計	138	100%

⑧後継者・担い手育成や若手農業者の増加につながった

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	6	4%
2 ややそう思う	14	10%
3 どちらとも思わない	61	44%
4 ややそう思わない	19	14%
5 そう思わない	27	20%
- 未回答	11	8%
計	138	100%



II 「両筑平野用水二期事業」についてお尋ねします。

◆設問 1 1. 両筑平野用水二期事業では、老朽化が進んだ施設の改築や水管理システムの導入にあわせ、水路周辺地域の環境や景観への配慮として以下の取組を行いました。

これらについて、農業農村の環境や景観の保全に役立っていると思われまか。

(すべての項目について、あてはまる番号のいずれか1つに○をつけて下さい。)

①遡上しやすい魚道への改善 (別紙「説明写真」参照)

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	36	26%
2 ややそう思う	34	25%
3 どちらとも思わない	43	31%
4 ややそう思わない	8	6%
5 そう思わない	7	5%
- 未回答	10	7%
計	138	100%

②歴史的景観条例に配慮したゲートの色彩 (別紙「説明写真」参照)

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	26	19%
2 ややそう思う	40	29%
3 どちらとも思わない	46	33%
4 ややそう思わない	7	5%
5 そう思わない	7	5%
- 未回答	12	9%
計	138	100%

③農村景観に配慮した調整水槽の設置位置の検討 (別紙「説明写真」参照)

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	27	20%
2 ややそう思う	42	30%
3 どちらとも思わない	38	28%
4 ややそう思わない	11	8%
5 そう思わない	8	6%
- 未回答	12	9%
計	138	100%

④景観に配慮したコンクリート構造物と周辺整備 (別紙「説明写真」参照)

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	29	21%
2 ややそう思う	39	28%
3 どちらとも思わない	41	30%
4 ややそう思わない	11	8%
5 そう思わない	7	5%
- 未回答	11	8%
計	138	100%

⑤低騒音工法を用いた既設構造物の取り壊し（別紙「説明写真」参照）

選択肢	回答数	割合
1 そう思う	31	22%
2 ややそう思う	36	26%
3 どちらとも思わない	42	30%
4 ややそう思わない	8	6%
5 そう思わない	7	5%
- 未回答	14	10%
計	138	100%

